

## 事業完了（廃止等）報告書

### 調査研究期間等

調査研究期間	委託を受けた日 ~ 平成30年3月16日
調査研究事項	<p>委託研究</p> <p>ア．義務教育未修了者に関すること</p> <p>イ．入学希望既卒者に関すること</p> <p>エ．外国籍の者に関すること</p>
調査研究のねらい	<p>様々な事情により、義務教育を十分に受けられなかった者（義務教育未修了者・入学希望既卒者）に義務教育の機会を提供することを目的とする。</p> <p>日本語の定着が不十分でコミュニケーションが取りにくい生徒が増加する中で、生徒指導の基本であるコミュニケーションに基づく生徒理解が不十分な現状である。そこで、日本語指導の非常勤講師や学生ボランティア・通訳ボランティアを活用し、意思疎通を図る取組を進め、教職員・ボランティアと生徒相互の良好な人間関係を構築していくことをねらいとする。</p>
調査研究の成果	<p>(1) 本年度の取組について</p> <p>調査研究のねらいを達成するため、以下のとおり取り組んだ。</p> <p>日本語教室における指導内容改善のための検討会や校内研修会において、その実態を報告するとともに、それぞれの日本語理解環境について情報交換を行った。</p> <p>日本語理解を深めるため、「音読」と「漢字」の学習を重視する取組を進めた。</p> <p>前年度の「日本語（国語）テキスト」を生徒の実態に合わせて更新・改善を進めた。</p> <p>ボランティアを活用し、人間関係構築に努めた。</p> <p>通常の教科書と合わせて教員作成の教材を活用し、それぞれの学力に合わせた授業を進められた。</p> <p>(2) 改善充実の成果について</p> <p>上記の取組の成果を定着させるため、課内・課外の日本語教室における学習内容の工夫による授業改善を積極的に進めた。</p> <p>今年度も引き続き「音読」と「漢字」を重点的に取り組んだ結果、挨拶や簡単な日常会話ができるようになり、繰り返し学習することにより、よく使う漢字や単語を習得することができた。</p> <p>学習成果を披露する文化祭での詩の群読発表においては、宮沢賢治の『雨二モマケズ』を群読し、さらには『私の雨にも負けず』と題し、逆境に屈せず進んできた自らの経験やこれから取り組</p>

みたいことなどをそれぞれが舞台上で発表する場を経験した。自信を持って自分の言葉で語るという体験が、その後の学習意欲の向上につながった。

また、昼間部生徒との交流学习の時間には、人権標語入りカレンダーを制作し、貼り絵等の共同作業を通じて積極的にコミュニケーションを図る姿が見られた。

地域女性会によるフラワーアレンジメントの学習や茶道のお点前の指導など、ボランティアを活用した学習や関わりを通じた日本語理解も進めることができた。陶芸や着付けなど、日本文化への興味関心を高める授業内容を用意し、新たに漢字を知り覚えるきっかけ作りを図った。同時に、多文化共生学習として、「タイカービング」の実演と体験等を行うなど、日本だけでなく多様な文化を尊重する気持ちを養った。

平成28年度から受け入れている不登校等の事情で義務教育を十分に受けることのできなかつた入学希望既卒者（形式卒業者）については、夜間部で学ぶことにより、高等学校への進学という目標がより明確となり、学ぶことへの意欲の向上が見られた。今後も、生徒のニーズや個々の状況に応じた授業を実施していくために、授業内容の検討を重ねていく必要がある。

また、高齢の生徒や日本語での指示を聞き取れない生徒を、形式卒業者の生徒がさりげなくサポートすることで授業が円滑に進み、周囲から頼られる存在として本校に溶け込み、次第に自己有用感を高める姿が見られた。